

## 2021年度ワーキンググループ活動計画書

(2021年6月～2022年5月)

2021年07月15日

### 1 ワーキンググループ活動計画

#### ☆ ガイダンス WG

##### (1) ワーキンググループの目的

ガイダンスワーキンググループは、CSA ジャパンが提供しているガイダンスの翻訳版を用いてクラウドセキュリティについて学ぶとともに、現ガイダンスの翻訳および訳語のレビューを行い、次期バージョンの翻訳品質の改善に向け幅広く議論し情報提供を行う。

##### (2) 2021年度活動計画／目標

###### ● 活動計画

- 活動計画、目標設定は困難と判断し、計画立案を見送る
- 東京電機大学特別講義は、WG とは切り離して担当者グループのタスクとして取り組む。

###### ● その他

- 一度休止または廃止してリセットし、次のテーマが出たときに再度募集すべきか。

#### ☆ SLA-Innovation WG

##### (1) ワーキンググループの目的

CSAJC SLA イノベーションワーキンググループは、CSA EMEA のSLA-Ready および関連する地域連携活動に準拠して、標準化と透明性の視点から、クラウドセキュリティのSLA (Service Level Agreement) に関する基本的な調査研究を行い、潜在力のある中小企業・小規模事業者や地域のイノベーションコミュニティ向けに、クラウドサービス利用時のセキュリティ／プライバシー保護に関する啓発活動を推進することを目的とする。

##### (2) 2021年度活動計画／目標

###### ● 活動休止

#### ☆ クラウドプライバシー WG

##### (1) ワーキンググループの目的

クラウド環境におけるプライバシーおよび個人データの保護および取り扱いに関して、グローバル及び日本の視点でガイドラインを出していくことを目的とする。CSA 本部では、PLA(Privacy Level Agreement)を公開し、EU データ保護指令や一般データ保護規則 (GDPR) に基づいて、クラウド上でプライバシー・データをどのように保護し取り扱うかに対するガイドラインを示している。また、日本においては、改正個人情報保護法が2017年5月30日に施行され、これに基づいて個人情報をクラウド上でどのように保護し取り扱うに関する指針が必要となっている。

このような状況において、CSA ジャパンとして、クラウド環境におけるプライバシーの保護および取り扱いに対して、日本及びグローバルの観点から検討を行い、情報の公開を行っていくことを目的とする。

(2) **2021 年度活動計画／目標**

- **活動計画**
  - CoC JP の年内公開。
  - 毎月 1 回定例会開催
  - 必要に応じて各章ごとの分科会の開催

◇ CCM/STAR ワーキンググループ

(1) **ワーキンググループの目的**

CSA グローバルの Cloud Control Matrix (CCM)の日本語化について、その監修および一般への公開を行う。また、日本語版をベースに、日本の法令、標準、基準の CCM へのマッピングを行うと共に、日本における CCM の展開のための啓発活動を推進することを目的とする。

日本における STAR 認証の普及を推進する。また、27017 等のクラウドセキュリティに対する STAR の位置づけを明確化するために、CSA 本部と協調して活動する。

なお、本 WG は、既存の CCM WG と STAR WG を統一した。

(2) **2021 年度活動計画／目標**

- ISMAP タスクフォースと協調し、ISMAP と CCM のマッピング/リバースマッピングを完成し、公開する。また、CSA 本部からのリリースとすべくアプローチする。
- CCM V4 日本語版作成、公開。
- STAR Continuous の日本での展開。
- STAR 認証（特に Level-1）に対する日本のプロバイダの参画支援。

◇ Blockchain ワーキンググループ

(1) **ワーキンググループの目的**

Blockchain ワーキンググループでは、Blockchain についてクラウド上で分散台帳を保管する際のセキュリティ要件を含めたクラウド環境の選定基準の観点から研究を行う。2017 年 1 月 17 日にスタート。

1. クラウド上で分散台帳を保管する際のセキュリティ要件を含めたクラウド環境の選定基準を研究し、ガイドラインとして取り纏め、公表する。
2. CSA 本部の BlockChain/Distributed Ledger WG（※以下、Blockchain WG）及び Internet of Things WG（※以下、IoT WG）と協調して活動する。両 WG からの情報をもとに、日本への情報提供を行う。
3. ベンダー主導のブロックチェーン／分散台帳の研究成果を CSA 本部の BlockChain WG に提案していく。

(2) **2021 年度活動計画／目標**

- まず WG を開催し、今後の方針の検討を行う。

◇ CASB ワーキンググループ

(1) **ワーキンググループの目的**

IaaS/PaaS/SaaS のクラウド利用増加に伴い、クラウドアクセスの制御、可視化、クラウド環境設定の監査とガバナンスの強化、脆弱性の管理や、最近顕在化している SaaS の設定ミスによる情報漏洩などの様々な課題が増えてきています。この WG ではこれら課題解決を目指すために、クラウドセキュリティを学び、情報を交換し、できるだけそれらを分かりやすく外部に発信していくことを目的とします

(2) 2021 年度活動計画／目標

● 活動計画

- 月 1 回程度の定例会の実施による情報交換
- SSPM 勉強会の実施 (6 月)
- 関連ブログの作成 (目標は本 WG から 3 本)

● その他

- 定例参加者が激減しているため、Slack 以外のツールを利用した呼びかけを検討

◇ IoT クラウドサービスワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

IoT (もしくは M2M)、とりわけスマート家電などに対して、クラウドから提供される各種サービスへの脅威とその対策について検討、提言を行う。

(2) 2021 年度活動計画／目標

- IoT セキュリティ コントロールフレームワーク バージョン 2 の WG メンバーによるスタディーの実施。WG 内で、IoT セキュリティの知識を深める。
- IoT セキュリティ コントロールフレームワーク バージョン 2 の解説に取り組む。勉強会の実施あるいはガイダンス文書の作成に取り組む。

◇ 健康医療情報管理ユーザーワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

CSA-JC 健康医療情報管理ユーザーワーキンググループは、CSA グローバルの Health Information Management Working Group の活動に準拠して、患者／生活者中心の視点から、健康医療分野のクラウド利用に係るセキュリティ／プライバシー保護を支援するための基本的な調査研究を提供し、エンドユーザー向けのクラウドセキュリティに関する啓発活動を推進することを目的とする。具体的な活動に際しては、一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンスにおける各ワーキンググループおよびその他のイニシアティブとの連携を図るものとする。

(2) 2021 年度活動計画／目標

➢ 国内活動

- ライフサイエンス／医薬品／医療機器産業、医療機関／介護施設／健康増進サービス事業者、患者／消費者を含む健康医療情報バリューチェーン全体における CSA ガイダンス、CCM、STAR 認証、医療機器／遠隔医療セキュリティガイダンス、IoT セキュリティガイダンス、アプリケーションコンテナ／マイクロサービス／サーバーレス・ガイダンス等の有効活用の推進活動
- CSA のワーキンググループが主導する CSA ガイダンス、CCM およびその他発行文書類 (例. IoT セキュリティガイダンス) に関する、業界の視点に立ったピアレビューの実施およびフィードバックの提供
- 健康医療情報に関わる国内外の主要なステークホルダーコミュニティ (例. フォーカスグループ、業界団体、研究機関、フォーラム、学術団体など) との積極的な協業活動
- 上記に関する周知、認知、研究の機会を計画／実行するために、関西支部との連携を強

化する

- グローバル活動
  - CSA HIM-WG のグローバル活動への積極的コミットメント
  - CSA 海外チャプターとの連携活動強化（例：中国、東南アジア、インド、EMEA）
- 関西支部との連携強化活動～関西ヘルスケア業界&製造業界におけるクラウドセキュリティ啓発活動
  - CSA Health Information Management WG の成果物を活用した紹介ブログと勉強会の連載企画を展開する

#### ◇ ビッグデータユーザーワーキンググループ

##### (1) ワーキンググループの目的

CSA-JC ビッグデータユーザーワーキンググループは、CSA グローバルの Big Data Working Group の活動に準拠して、データ中心の視点から、エンドユーザー向けに、ビッグデータにおけるセキュリティ/プライバシー保護を支援するための基本的な調査研究を提供し、ビッグデータ環境のクラウドセキュリティに関する啓発活動を推進することを目的とする。具体的な活動に際しては、一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンスにおける各ワーキンググループおよびその他のイニシアティブとの連携を図るものとする。

##### (2) 2021 年度活動計画/目標

- 活動休止

#### ◇ クラウドセキュリティワーキンググループ

##### (1) ワーキンググループの目的

クラウドセキュリティ WG は、CSA ジャパンにおける他のワーキンググループが扱わない事項や、マクロなクラウドセキュリティについて等を題材にし、世に有効に活用できる情報を発信する。

##### (2) 2021 年度活動計画/目標

- DevSecOps におけるユースケースの公開
- アーキテクチャフレームワークのセキュリティ解説書の作成
  - AWS/Azure Well-Architected Framework、GCP アーキテクチャフレームワークのセキュリティ部分にフォーカスした解説書。

#### ◇ モバイルユーザーワーキンググループ

##### (1) ワーキンググループの目的

CSA-JC モバイルユーザーワーキンググループは、CSA グローバルの Mobile Working Group の活動に準じて、クラウド中心の視点から、エンドユーザー向けにセキュアなモバイルデバイスコンピューティングを支援するための基本的な調査研究を提供し、モバイル環境のクラウドセキュリティに関する啓発活動を推進することを目的とする。具体的な活動に際しては、一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンスにおける各ワーキンググループおよびその他のイニシアティブとの連携を図るものとする。

##### (2) 2021 年度活動計画/目標

- 活動休止

#### ◇ SDP ワーキンググループ

##### (1) ワーキンググループの目的

SDP ワーキンググループは、日本における SDP の普及に向け、テクノロジーおよびビジネスへの適用について幅広く議論し情報提供を行う。

(2) 2021 年度活動計画／目標

- AWS 上に構築した SDP のラボ環境を用いて、スタディーの実施、技術資料の公開を行う。
- ラボを幅広く利用できる環境を整える。

☆ アプリケーションコンテナ&マイクロサービス・ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

アプリケーションコンテナ&マイクロサービス (ACM) ワーキンググループは、グローバルレベルで、アプリケーションコンテナおよびマイクロサービスのセキュリティに関する基本的な調査研究を行い、セキュアなアプリケーションコンテナおよびマイクロサービス利用のためのガイダンスやベストプラクティスを発行するとともに、日本国内レベルでは、クラウドサービスのユーザー/コンシューマー向けに、アプリケーションコンテナおよびマイクロサービスのセキュリティに関する啓発活動を行うことを目的とする。

(2) 2021 年度活動計画／目標

- 国内活動
  - 本ワーキンググループは、日本クラウドセキュリティアライアンスのインディビジュアル/コーポレート/アフィリエイトメンバーからのボランティアによって構成される。
  - 本ワーキンググループは、運営委員会の下で、主要なプロジェクトマネジメント、オンラインワークプレイス、テクニカルライティング支援、日本クラウドセキュリティアライアンス理事会への報告をコーディネートする。
  - これらに関連する周知、認知、研究の機会を計画/実行するために、関西支部や、他の WG、各種団体・メディアとの連携活動を強化する。
- グローバル活動
  - CSAACM-WG のグローバル活動への積極的コミットメント
  - Health Information Management WG、IoT EG、DevOps WG 等、コンテナ/マイクロサービスを共通基盤とする他の WG との連携活動強化
  - CSA 海外チャプターとの連携活動強化 (例：中国、東南アジア、インド、EMEA)
- その他
  - オンライン中心の活動から、オンライン/オフラインのハイブリッド型活動に移行するための会場やコミュニケーションツールの準備が必要

☆ ICS ワーキンググループ (CSA 本部 WG)

(1) 2021 年度活動計画／目標

- 活動休止

☆ SDN ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

SDN ワーキンググループは、SDN を技術的に解説し、SDN のクラウドへの利用方法および優位性を解説し、ガイダンスでは理解しきれない点をカバーしていくことで、ガイダンスに関する

る SDN の解説書的な位置づけとなるようなアウトプットの作成を目指して活動していく。

(2) 2021 年度活動計画／目標

- 活動計画  
未定
- その他
  - 以下のような案で WG 活動の見直しを検討したいと考えます。
    - ◇ WG 活動の休止
    - ◇ 他の WG との吸収合体
    - ◇ WG リーダーの変更

◇ データセキュリティ ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

クラウド上のデータ保護として、アクセス管理、暗号化、鍵管理、モニタリング等の推奨事項が記載されているが、プロバイダのデータ保護対策の内容の把握、利用者側で取るべき対策、プロバイダが提供するデータ保護の機能の利用など、具体的な対応方法をガイダンスから読み解くことが難しい状況である。データセキュリティ WG では、このような課題に対してよりわかりやすい技術的な解説を行い、ガイダンスのデータ保護に関する解説書的な位置づけとなるようなアウトプットの作成を目指す。

(2) 2021 年度活動計画／目標

- クラウドデータセキュリティガイドの公開
- 上記アウトプットを出した後一区切りとする。今後の方針は、メンバーと協議するが、活動の終了もある。

◇ ISMAP タスクフォース

(1) タスクフォースの目的

CCM と ISMAP のマッピングおよびリバースマッピングを行うためのスペシャル・タスクフォースとして実施する。

(2) 2021 年度活動計画／目標

- 21 年 6 月から 7 月の計画
  - ① 6 月下旬のクロージングで、CCM\_v3/ISMAP の WG 承認後、運営委員会へ上申。
  - ② 7 月の運営委員会承認後を想定し、8 月に CCM\_v3/ISMAP をリリース。
- 21 年 8 月から 22 年 4 月の計画
  - ① CCM\_v4 の現状報告を受ける（諸角さんから）。
  - ② CCM\_v4/ISMAP の WG を結成し、リリースに向かう。
  - ③ CCM/ISMAP のガイドラインなる手引きが有っても良いと考えています。
    - ISMAP は、日本版 FedRAMP と言われているので、FedRAMP との比較。
    - ISMAP は、「ISMAP 運営委員会」「ISMAP 監査機関」「クラウドサービス事業者」によって構成されているので、各組織を網羅した役割と責任の記載など。

◇ RPA 検討会

(3) 検討会の目的

RPA について、クラウドセキュリティの観点から調査・研究を行う。

(4) 2021 年度活動計画／目標

- 活動休止

以上